

— 南総地区の人口 —
 人口 21,474人
 男 10,823人
 女 10,651人
 世帯数 10,170世帯
 令和3年5月1日現在

ふれあい

地域で守ろう『福祉のまち、南総』

編集 南総地区社協
 広報委員会
 発行責任者 地区社協会長
 児井敏雄
 事務局 南部エリア推進
 センター内
 電話 92-1481



スクールバスで登下校する子どもたち（牛久小学校）
 内田小学校の統合により、朝夕2便ずつスクールバスが子どもたちを送迎することになりました。地域の方が毎日見守りを行っています。

日頃より南総地区社会福祉協議会へのご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。市原市では高齢者が住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に地域で提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。また、高齢者だけでなく、障がいのある方、子ども、生活困窮の方など、地域で暮らす誰もが住み慣れた地域で自立して暮らせるよう、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが求められています。加えて、新型コロナウイルスは昨年当初から感染が拡大いたしました。今も終息の兆しが見えません。幸いにも南総地区での感染者は少ないと思われませんが、都市部の状況は予断を許しません。新型コロナウイルスに感染しますと重篤な症状となることもあり注意を怠ることはできません。今年度は役員の改選がありました。困難な状況の中ではありますが、新しい役員で皆様のお役に立てるよう努力してまいります。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。（会長 児井 敏雄）

会長あいさつ

令和3年度事業計画及び予算

福祉バザー事業

11月21日（日） 南総公民館
 ※今年度も皆様のご協力をお願いいたします

地域福祉支援事業

歳末助けあい運動の一環として会食会とあわせてクリスマス会を実施
 12月17日（金） 南総公民館

相談支援事業

毎週土曜日 13時～15時
 なのはな館 相談室
 ※電話でのご相談も受け付けています
 ☎070-5579-7629



サロン事業



広報事業

広報紙「ふれあい」を
 年2回発行（6月・12月）

研修会

関係者間の学びと交流の場として実施（年1回）

その他事業

- 在宅介護者支援事業（年3回）
- 災害支援ボランティア事業（年2回）
- 小域福祉ネットワーク連絡会議（年2回）
- 高齢者支え合い事業（第2層協議体）
- 人材育成事業

事業名	開催日	場所
ふれあいきいきサロン（食事サービス）	毎月第3金曜日 （4月・5月・8月は中止）	南総公民館
ふれあいきいきサロン（茶話会）	通年	各地区
ふれあい子育てサロン（のびのびキッズ）	5月18日、6月22日、 7月30日、9月21日、 12月14日、3月15日	南総公民館

予算の概要

予算総額 3,759,032円

【収入】

①交付金	1,817,200円
②負担金	271,900円
③賛助会費	1,000,000円
④繰越金	638,932円
⑤その他	31,000円

【支出】

①事業費	2,520,500円
・サロン事業費	1,129,500円
・地域ふれあい会食費	351,000円
・高齢者支え合い事業費	160,000円
・その他事業費	880,000円
②助成金	481,000円
③会議・事務費	706,500円
④予備費	51,032円

令和3年度南総地区社協の一般会計当初予算は、前年比八・七％減の三、七五九、〇三二円となりました。収入として、①交付金（市社協からの運営補助等）が一、八一七、二〇〇円、②負担金（事業への参加費等）が二七一、九〇〇円、③賛助会費一、〇〇〇、〇〇〇円、④繰越金六三八、九三二円、⑤その他収入三一、〇〇〇円となっております。一方、支出として、①各種事業費二、五二〇、五〇〇円（六七・一％）、②助成金四八一、〇〇〇円（一一・八％）、③会議・事務費等七〇六、五〇〇円（一八・八％）、④予備費五一、〇三二円（一・三％）を計上しております。この予算に基づき、本年度もふれあい事業（食事サービス、茶話会、子育てサロン）の他、地域ふれあい会食事業や地域福祉支援事業等を展開致します。また、昨年新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の関係で、各事業の実施に制約が予想されますが、必要な対策を講じた上で活動を進めてまいります。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で、各事業の実施に制約が予想されますが、必要な対策を講じた上で活動を進めてまいります。また、長年課題であった地域福祉基金を三月一日付で設置したことにより、新たな日常生活への支援や介護予防の充実・災害への対応に向けた取り組み等、近々の課題について弾力的に取り組んでまいります。

今後、更に高齢化が進み見守り支援を必要とする方の増加が予測される中、公的サービスでは対応できない問題も生じてくるものと思います。地域包括ケアシステムの充実に向けた検討を進めた結果、その第一歩として「南総地区向こう三軒両隣（住民同士の見守り）」の取り組みを、段階的に開始する予定です。

トピックス

南総地区災害対策本部

大規模災害に備えて

令和元年に発生した三度の風水害は、この南総地区にも大きな被害をもたらした。今なお各所に大きな傷跡が見られます。

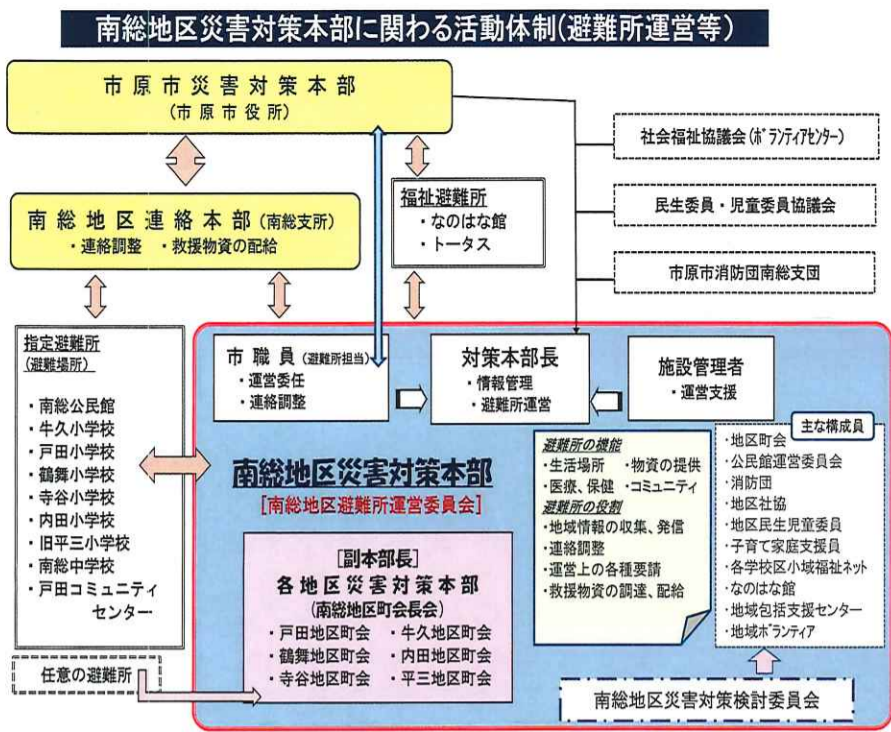
南総地区災害対策本部は、この自然災害を教訓に、地区町会長の依頼を受け昨年の七月に発足し、南総地区の大規模災害における連携強化の具現化を図るための取り組みを進めてきました。

地区町会を中心とする災害対策の運営を基本とし、市原市の発令する警戒レベルの段階により災害の調整機関となり、南総地区連絡本部（南総

支所）等の公的機関と連携して素早い地域災害対策本部を立ち上げ、情報管理と避難所運営の一体的な運営を目指すこととしています。

そのため、自助（自らの命は自ら守る）共助（自分たちの地域は地域のみんなを守る）という地域防災力向上のため南総地区に関わる多くの関係諸団体にも参画に関わっていただいております。南総地区社会福祉協議会もその一翼を担っていただいております。

「支援を必要とする方々にいかに必要な支援を届けることができるか」、令和元年度の災害を教訓に「情報の収集と発信の集中管理」も大きな課題のひとつです。そのため市原市は災害対応検証報告書をまとめ地域防災計画を修正



ふまねっと運動を楽しんでいる皆さん

一 活動内容
 ① 毎週月曜 筋金近トレ体操
 ② 毎週水曜 ふまねっと運動
 ③ 毎週土曜 ふまねっと運動
 ④ 月末水曜日に茶話会を開催
 二 ふまねっと運動について
 五十 cm 四方の大きなマス目、

牛久地区

市原市通いの場事業

牛久下宿ふまねっとクラブ

当クラブは平成二十九年十月に発足し、牛久下宿会館で活動しています。参加者七名（うちサポーター二名）で始まり、その後、簡単に楽しい運動と評判が広まり現在は、参加者二十七名（うちサポーター六名）に増え、みんな和気あいあいと楽しく行っています。

「元気に明るく楽しく」を目標に皆さんの地域でも始めてみませんか。
 （編集委員）

上総鶴舞駅の花壇

「房総里山芸術祭いちほらアートミックス2020+」を訪れる観光客をおもてなしすると共に、地域住民による



駅前花壇と芝桜

鶴舞の魅力発信、地域の活性化や地域の誇り醸成を目的に、三月二十日から上総鶴舞駅を舞台に様々なイベントを催す予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。その中で駅前広場とプラットホームに花壇を造って花を植える作業が「鶴舞踊りの会」、東京の若者「のろし」や地元池和田の有志等四〇名で実施されました。

五月四日の「みどりの日」にNHKが新緑の里山を紹介する放送をするため、四月十八日に取材チームが市原に撮影に来て、鶴舞駅の花壇整備をする地元の人達を撮影しました。当日は約三〇名の人達が芝桜畑の雑草取りを行い、カメラマンがそれを二台のカメラで収録しました。

五月四日（祝日）の十時から十八時三十分の間に、日本を代表する里山の一つとして、養老川沿いの田園地帯や小湊鉄道の疾走風景と共に、鶴舞駅の花壇と手入れする人たちの作業が放送される予定でしたが、コロナ感染の為に中止になりました。

初夏を迎えて花壇の芝桜が育ち広がっていますので、コロナ感染防止のマスクと三密を避けてご覧になっていただきたいと思ひます。
 （編集委員）



駅前花壇と芝桜

今年も梅雨の時期に入り、雨が過ぎようとしています。雨上がりの青葉が目にし、いろいろな花が咲き誇る季節になりました。

今年も梅雨の時期に入り、雨が過ぎようとしています。雨上がりの青葉が目にし、いろいろな花が咲き誇る季節になりました。

今年も梅雨の時期に入り、雨が過ぎようとしています。雨上がりの青葉が目にし、いろいろな花が咲き誇る季節になりました。

今年も梅雨の時期に入り、雨が過ぎようとしています。雨上がりの青葉が目にし、いろいろな花が咲き誇る季節になりました。

令和3年度南総地区社会福祉協議会理事監事名簿

役職	氏名	地区
役員理事	児井 敏 雄	牛久
役員理事	高山 良 明	鶴舞
副会長(総務)	田 中 博	牛久
役員理事(第1)	御 藤 納 正 一	寺谷
副会長(第2)	桐 谷 岩 夫	寺谷
役員理事(第1)	岩 地 光 平	牛久
役員理事(第2)	竹 下 ひろ子	平三
役員理事(第1)	中 川 正 孝	牛久
役員理事(第2)	常 泉 和 男	牛久
総務理事	(欠 員)	戸田
第1事業理事	関 氏 純 子	内田
第1事業理事	五十 嵐 君 代	戸田
第1事業理事	清 田 安 男	内田
第1事業理事	(欠 員)	平三
第2事業理事	長 谷 川 光 子	牛久
第2事業理事	竹 下 弘	平三
第2事業理事	常 澄 忠 男	牛久
第2事業理事	半 澤 房 夫	鶴舞
監 事	小 出 昭 明	内田
監 事	中 孝 壽	牛久

なのはな館情報

月例講習会が変わります

なのはな館の健康増進室では、これまで月一回、自宅でも気軽にできるストレッチから本格的な腰痛予防体操まで、参加者のニーズに添った内容で「月例講習会」を行ってきました。

また、歩行用プールでも、初心者向けの歩き方からアクアビクス（水中で行う有酸素運動）など様々な講習会を開催し、リピーターも増えてきました。



なのはな館 92-1481

編集後記

今年も梅雨の時期に入り、雨が過ぎようとしています。雨上がりの青葉が目にし、いろいろな花が咲き誇る季節になりました。

「時代」という歌の中に、苦しい時を乗り越えれば、必ず良い時代が来るといふ歌詞があります。

「そんな時代もあったね」といつか話せる日が来るわ、あんな時代もあったねと、きつと笑って話せるわ。

編集委員
 河津 敏郎 (内田)
 伊藤 陽子 (寺谷)
 加藤 功 (牛久)
 大井 守 (鶴舞)
 金高 義幸 (平三)
 牧野 雅夫 (戸田)